

KANAGAWA HOHYUH CLUB

神奈川放友会

Newsletter



Vol. 3 No.2 Apr. 2010
第 10号

神奈川放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地
ストーク伊勢佐木1番館 504号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武

発行日 2010年4月1日

「巻頭言」

競走馬サンデーサイレンスの死から学ぶもの

橋口邦紘

1986年3月25日、後に日本競馬界を席卷する事となる1頭の競走馬が産声を上げ、後にサンデーサイレンス(Sunday Silence)と名づけられました。

サンデーは幼少の頃から脚が外に向いているという競走馬としては致命的な欠陥を抱え、血統的にも、馬体的にもお世辞にも素晴らしいとはいえセールは2度とも買い手が付かずその後、カルフォルニアのトレーニングセールの帰途中では、サンデーを乗せたトラックの運転手が突然心臓発作に襲われトラックが横転、サンデー以外の全ての馬が命を落とす災難に見舞われましたがサンデーだけは奇跡的に助かりました。

その後は順調に調教を重ね、1988年10月30日にデビュー、初戦こそ2着でしたが、2戦目に初勝利を上げました。

年が明け2連勝で迎えたG1初出走のサンタアニタダービーで、後続に11馬身の差をつける圧勝で一躍クラシック候補に名乗りを上げ、以後も順調に勝ち続け、6度のG1勝利を獲得しましたが、4歳の時調教中に右前靭帯を痛め現役を引退しました。

(生涯成績 14戦9勝 獲得賞金 4,968,554ドル)

引退後はアメリカで種牡馬となりましたが、血統的な裏づけが乏しい事から人気が出ず「種牡馬失格」の烙印が押されたほどでしたが、日本の代表的ホースマン吉田照哉氏が、日本で「25億円のシンジケート」を組み「1,100万ドル」で購入しました。

当時あまりの高額さに業界では成功を危ぶむ声もありましたが、吉田氏は自分の眼力とこれまで培ったホースマンとしての直感を信じて購入を決意しました。

正に一世一代のギャンブルではなかったでしょうか。サンデーはこれに見事に答えます、1994年32頭の産駒出走中20頭が勝ち上がり、朝日杯3歳ステークスではフジキセキがG1初勝利し、翌95年からはクラシック戦線でもサンデーの産駒が主役となります。

それからは2004年10月24日産駒がJRA通算2000勝、初年度産駒から12年連続G1勝ち等数々の記録を塗り替えていきました。

産駒の中でも古くは、ダンスパートナー、タヤスツヨシ、スペシャルウィーク、アドマイヤベガ、等枚挙に暇がありませんが、何といたっても今の私達に記憶が新しいのは、サンデーの最高傑作といわれたディーブインパクトではないでしょうか、もう駄目だ此処からでは届かな

いと思われた最後の直線から、大外一気、ごぼう抜きシーンは今も競馬ファンの脳裏に焼きついていきます。

しかし、サンデーは2002年8月19日衰弱性心不全の為、死去しました。

省みればサンデーサイレンスの産駒が活躍しだした1994年から競走馬生産者の苦しみが始まりました、何せサンデーの血統以外の馬は売れなくなったのです。買い手が付きませんでした、希望の無い毎日で地獄の苦しみを味わったと皆が言います。

希望の無い毎日、正に今日の日本、更に世界によく似ています。

それでも生産者はあらゆる職業のホースマンと頑張りました、耐えました。どうしたらサンデーの血統馬に勝てるか、弱点は無いのか必死に改良に改良を加え、調教を工夫し、飼料を見直した10数年の結果ようやく互角に戦える馬が続々と出始める様になりました。

しかし、サンデーの血統は、すでに日本の競馬界には欠かせ無い存在となりました。

続々と子供達が種牡馬、繁殖牝馬となり、孫達がどんどん勝ち上がっています。(あのディーブインパクトの子供達も今夏にはデビュー予定で、子供達がどんな走りをするのか、競馬ファンが一番の関心事です。)

生産者のやっと血の滲む様な努力が報われたかの様に思われた矢先、突如世界的大不況です。

またもや競走馬が売れなくなったのです。サンデーの孫にさえなかなか高値が付きません、世界の競馬界にも不況の嵐が吹き荒れています。

しかし、あのサンデーサイレンス嵐を耐えた、乗り切ったホースマンはへこたれません。

嵐が過ぎ去るのをじっと待っています。あの時の様に、何をすればいいのか、どうすれば日本はおろか、世界で活躍する馬を育成できるのかを身に付けたのです。

私達もホースマンを見習って、今は耐えましょう。

希望を失わない事です。

その日が早く来る事を願って、この大不況の原因もJALやTOYOTAの問題だって原因が判明したのだから解決できない訳はありません。医療界も同じではないでしょうか。元気を出しましょう。

「苦有れば楽有り」というではありませんか。

「神奈川放友会」が一生懸命応援しています。

神奈川放友会総会

「会告(1)」 第3回神奈川放友会総会の開催を下記の通り告示する

2010年3月24日

神奈川放友会 会長 長谷川 武

開催日 平成22年4月4日(日)
AM: 12:00~12:30
開催場所 桜木町ワシントン ホテル
5階 BAY SIDE ドルフィン
(JR 桜木町駅前)

- 総会議事 1) 開会のことば
2) 会長挨拶
3) 議 題
① 第1号議案 平成21年度事業及び会計報告
② 第2号議案 平成21年度 監査報告
③ 第3号議案 平成22年度事業計画及び予算案
4) その他
5) 閉会のことば

「会告(2)」 第1回神奈川放友会「放談会の集い」開催のお知らせ

「放談会の集い」を総会開催時の第2部企画として同時開催いたします。
万障お繰り合わせの上、是非ご参加をされますようご案内いたします。

神奈川放友会 会長 長谷川 武
実行委員長 橋口 邦紘

開催日 平成22年4月4日(日)
AM: 12:30~14:00
開催場所 桜木町ワシントン ホテル
5階 BAY SIDE ドルフィン
参加費 3000円(放談会会食費)

テーマ 神奈川放友会の活動について “みんなで考えよう”

司会: 副会長 橋口 邦紘・理事 早瀬 武雄
グループ放談 Aグループ・Bグループ・Cグループ
予定発言者: 石渡良徳・小松崎真一・柳生 博・萩原 明・草柳伸彦・村松康久

[総会資料]

I 平成21年度事業及び会計報告総括

本会の活動目的は、①会員の情報交換 ②神放技への協力、意見具申 ③21世紀の医療と福祉の向上発展に寄与する社会活動への支援 に集約されますが、それに沿って精進してきました。

会費無しの運営で、急がず焦らずの基本ながら、役員
の熱意をお願いして実行して来ました。

また、会員とのコミュニケーションに目標を合わせて
やって来たつもりです。

その活動を報告いたします。

- 1) 会員数 97名 (男:92名 女:5名) 2010.3.17
- 2) 会 議 定例理事会 6回 臨時理事会 2回
- 3) 事業活動

- ① 「神奈川放友会 Newsletter」の発行 年4回
第6号 Vol.2 No.2 2009.04.05 A4版 8p 200部
第7号 Vol.2 No.3 2009.07.15 A4版 8p 200部
第8号 Vol.2 No.4 2009.10.01 A4版 8p 200部
第9号 Vol.3 No.1 2010.01.05 A4版 8p 200部

② 総会 第2回総会(2009.04.05) (書式方式)

③ 防災フェア見学と大山の景観会

平成21年10月18日(日)

総合防災センターと伊勢原大山巡り

④ 神奈川県放射線技師会への協力

事務所将来計画委員会への委員参加

⑤ 医療体制への鼓動—検診に携わった技師の記録—
石渡良徳 著(自費出版) の企画・編集・出版

⑥ 「神奈川放友会」の紹介及び会員登録の推進活動
地域放射線技師会・放射線技術講習会・賀詞交
換会等での役員参加による PR

4) 会計報告

平成21年度会計報告

収入の部		支出の部	
事業収入		送料費	21,280
購読料	43,000	文房具費	23,215
イベント参加費	63,000	イベント昼食・他費	84,990
寄付収入	48,325	雑費	2,520
前年度繰越金	54,312		
収入合計	208,637	支出合計	132,005
		繰越収支差額	76,632

5) 役員

会長	長谷川 武	理事	早瀬 武雄
副会長	橋口 邦紘		小松崎真一
監事	柳生 博		石渡 良徳
	萩原 明		村松 康久
			草柳 伸彦

II 平成21年度 監査報告

監事 柳生 博 (印)
萩原 明 (印)

神奈川放友会会則第11条により、平成22年3月17日に職務を実施したので報告する。

1. 会計監査

会計監査の必要性を認めにくい現状であるが、購読料をうまく使い、技師会の現物支援や寄付金とを合わせて、うまく運営されている。

2. 会務監査

Newsletterを主体に順調に行われている。イベント企画では、参加者を増やす努力がほしい。会員登録100名を記録しているが、放友会の発展のために会員登録に努力してほしい。

3. 補足

会員の出版本に、企画・編集・出版発行支援を行い成功している。会としてよい事業と理解したい。

III 平成22年度 事業及び会計(案)

どうにか3年目を迎えた放友会は「放友会の仲間作り」が基本ですので、軌道に乗る努力をしたい。

神放技における会員の厚生面的なつながりを築いて行きたいと思案している。

また、小規模診療施設等への放射線業務支援体制などが浮上する放友会を願って、神奈川県放射線技師会との全面協力を基にした、次の目標を置いて活動したい。

- ① 「神奈川放友会 Newsletter」の発行 (4回/年)
- ② 施設見学や懇談会などの企画
- ③ 会員入会の促進
- ④ 会員アンケートの実施
- ⑤ 神奈川県放射線技師会との意見交換
- ⑥ 役員増員の努力
- ⑦ 会計

収入	購読料(120×500)	60,000
	寄付金	20,000
	イベント参加費	120,000
	繰入金	76,632
収入合計		276,632
支出	送料費	50,000
	Newsletter発行費	30,000
	イベント実行費	120,000
	文房具費	20,000
	諸費	10,000
支出合計		230,000

次年度繰越金 46,632

社団法人 神奈川県放射線技師会

平成22・23年度役員体制

去る3月12日第87回(社)神奈川県放射線技師会総会に於いて役員選挙が行われ、窪田宗雄氏が二期目の会長に選任された。

また、副会長、監事も選任されたが、理事は会長より推薦指名され承認された。

次の役員が決まった。

会長	窪田宗雄	(再任)
副会長	上前忠幸	(再任)
副会長	高橋喜美	(再任)
監事	坂野建治	(再任)
監事	齋藤節	(新任)
理事・総務	安部真	(再任)
理事・庶務	伊藤今日一	(再任)
理事・財務	仙臺真紀夫	(再任)
理事・渉外	桂孝英	(新任)
理事・組織	松尾清邦	(再任)
理事・組織	佐藤英俊	(新任)
理事・学術	大内幸敏	(再任)
理事・学術	田島隆人	(新任)
理事・編集	大屋博宣	(再任)
理事・編集	岩崎千代子	(新任)
理事・保健厚生	山崎尚人	(再任)
理事・保健厚生	千田久治	(再任)
外部監事	坂本満	

新役員の活躍を期待し、会員として支援しましょう。

[広告] 神奈川放友会より出版物第1号

医療体制への鼓動

— 検診に携わった技師の記録 —

著者 石渡良徳
サイズ A5版300ページ
発行日 2010年3月25日
発行所 神奈川放友会
販売価格 1000円

日本消化器がん検診学会認定の「胃がん検診専門技師」の誕生と、がん対策基本法への評価に至るまでの道程を、放射線検診業務に捧げた放射線技師が検診の精度管理等を主眼に、検診学会等で改善に取り組んだ記録をリアルにまとめたものです。

是非とも、ご一読を願いたい。

この記録は、40年に亘る努力の足跡を、自分なりの達成感の成果として、記録を残したものである。患者さんを支え、検診医療を支える者として、苦難の道を多くの人に接し支えられた、真剣に取り組んだ姿であったことを見てやって欲しいと思う。

300ページを11章に分けて、記録を頼りにリアルにまとめ上げ、胃がん検診専門技師認定への奮闘ぶりを綴ったもので、著者の熱意が甦ってくる。

神奈川放友会が企画・編集・出版した単行本です。全国版として頒布いたしますので、ご支援下さい。

(社)神奈川県放射線技師会

第87回総会の概要

日時：平成22年3月12日(金) 18:30～20:30
 場所：横浜市技能文化会館 8階 大会議室
 (横浜市中区万代町2-4-7 tel.045 681 6551)

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 資格審査報告
4. 議長選出
5. 議題
 第1号議案 平成22年度 事業計画(案)
 第2号議案 平成22年度 予算(案)
6. 選挙管理委員会からの報告
7. その他
8. 閉会の辞

事業計画の総括

22年度の事業展開に当たる基本方針として留意事項を挙げた。

- ① 会員の動向 日本放射線技師会と神奈川県放射線技師会は別組織として、会費納入を含め扱われるようになったため、脱会者が出ている。神奈川県放射線技師会会員数：1643名(2009.12.16現在)
- ② 事業・予算の計上 公益法人への移行を考慮して事務所将来対策に関する答申・22年度内での定款改定を踏まえて、22年度事業は新定款(案)に設けたものを計上した。
- ③ 事務所対策 70周年記念事業の準備などを加味した予算とした。
- ④ 継続事業として、生涯教育・災害医療・組織強化・女性技師対策・広報活動のIT強化等更なる吟味を目指す。
- ⑤ 会員の資質向上と県民医療への貢献を行い、技師の社会的地位向上を目指す活動を展開して行く。
- ⑥ 公益性を表面化した事業展開
 基本計画の箇条書きは控え、現定款に沿って事業内容予算を提案した。新定款(案)を現定款に沿って作成したと述べている。

役員選挙

平成22・23年度 役員選挙

- 会長立候補 窪田 宗雄(国際親善総合病院)
 副会長立候補 上前 忠幸(多摩大学統合リスクマネジメント研究所)
 副会長立候補 高橋 喜美(汐田総合病院)
 監事立候補 坂野 建治(川崎市保健衛生事業団かわさき健康づくりセンター)
 監事立候補 斉藤 節(横浜南共済病院)

それぞれの定員枠には「定員数のみの立候補」であったため、承認採決によって、全員賛成で承認された。

平成22年度予算

一般会計と特別予算の総額 399,949,164 円が執行部より提案され承認された。

一般会計 14,575,000 円と特別会計 24,600,000 である。

一般会計 14,575,000 円

[収入] 科目	金額	割合	増減
入会金収入	400,000	3%	
正会員会費収入	8,925,000	62%	
賛助会員会費収入	920,000	6%	
研修会収入	320,000	2%	
広告収入	0		
負担金収入	1,800,000	12%	
補助金収入	150,000	1%	
寄付金収入	0		
雑収入	230,000	2%	
繰入金収入	1,330,000	9%	
積立金取崩収入	500,000	2%	
減価償却収入分を除く	14,575,000		△

[支出] 科目	金額	割合	増減
地域保健協力費	373,000	3%	
調査研究費	185,000	1%	
放射線技術向上費	1,167,000	8%	
関連団体協力費	894,000	6%	
図書印刷刊行費	4,198,000	29%	
福利厚生費	286,000	2%	
その他目的達成費	2,042,000	14%	
管理費	5,190,000	35%	
借入返済費	0		
予備費	0		
特定預金支出	240,000	2%	
減価償却収入分を除く	14,575,000		△

特別会計 24,600,000 円

	科目	横浜市救急医療センター放射線業務委託	川崎市北部小児急病センター放射線業務委託
収入	業務受託収入	7,200,000	17,500,000
	雑収入	10,000	
	収入合計	7,100,000	17,500,000
支出	事業費	6,810,000	15,950,000
	繰入金支出	150,000	1,000,000
	租税公課	250,000	550,000
	支出合計	7,100,000	17,500,000

一般会計の収入が昨年度比 566,000 円減で、その内訳は会費収入 293,000 円減・会費外収入 273,000 円である。

会の課題は会員の退会者を留意させ、未入会の技師には積極的に入会を勧めるキャンペーンが必要であると確認された。

神奈川乳房画像研究会の発足とマンモグラフィ検診の経緯

報告者 萩原 明

[乳がん検診の目的と指針]

日本の乳がん罹患数は 45,000 人余および死亡数は 11,000 人余であるが、年々増加している。平成18年6月には「がん基本法」が成立し、平成19年4月より施行されることになった。

神奈川県は「がんへの挑戦・10ヵ年戦略」を掲げ、その中に、本県においては昭和53年から、死因の第一位はがん死であると報告されている。その報告の統計によれば部位別の罹患数は、男性は胃がんが最も多く、次いで大腸・肺がんの順であり、女性は乳房がんが最も多いとされている。

国の施策としては、平成16年4月に厚生労働省保健課長名による「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（老健法65号抜粋）」の通達があり、マンモグラフィが主軸となって検診がスタートした。

乳がん検診の目的は、

- ① 乳がんの罹患率及び死亡率は、年々増加している。
- ② ②乳がんは早期に発見し、治療を行えば予後は良好である。
- ③ ③乳がん検診は、乳房に発生するがんを早期に発見するために実施する。

とされている。

現在、乳がん検診はマンモグラフィによって行われること。40歳代は2方向撮影、50歳以上には1方向撮影を基本とするが、2方向撮影を実施しても良いこと、2年に1回とすること、対象は40歳以上であること、その精度を補うために視触診を併せて行うことが厚生労働省の指針である。

先の「がん対策基本法」では、がん検診は健康増進法に基づく事業（努力義務）として市町村が引続き行う事と位置づけられ、平成20年度以降は再び法律に基づく事業として位置づけられた。また、がん死亡の20%減少を達成するために、がん検診受診率を5年以内に50%以上に目指し、がん登録を推進することもうたっている。以上が過去と現状の国の施策と経緯である。

[放射線技師が関わった乳がん検診の取り組み]

ところで、放射線技師が関わったマンモグラフィ検診の取り組みを年々列記する。

日本放射線技術学会のマンモグラフィの取り組みは、平

成4年に日本放射線技術学会の専門委員会による「乳房撮影に関する知識・技術の普及する会」が山下一也、寺田 央、堀田勝平らでスタートした。その翌年、東海大学附属病院の講堂で100人近くの受講生による講習会が開かれ、マンモグラムの関心度の高さが覗えた。

平成6年には日本放射線技術学会撮影分科会より「乳房撮影ガイドライン精度管理マニュアル」を発刊し、その2年後の8年には乳房撮影ガイドライン精度管理普及班の指導者講習会を開き、9年には全国的にテキストとしてマンモグラフィ検診精度管理講習会に活用して展開した。

尚、平成8年には「関西乳房画像研究会」を立ち上げた事から、神奈川でも研究会をこの機会にと有志を集めて行動を起こしたのが平成12年12月である。

実は、平成10年8月1日から2日間にかけて、乳房撮影ガイドライン精度管理普及班による第12回講習会を国際親善総合病院の全面的協力により、講堂とMMG撮影室と外に検診車を設営して実施されたのが、県下で初めての「マンモグラフィ撮影技術講習会」企画であった。

[初の県内講習会講師陣]

愛知県総合保健センターの堀田勝平氏を班長として、顧問の寺田 央氏、普及班員として予防医学の萩原、癌研の高橋、船橋市立の石井、四国癌センターの大松、東芝KKの榊原、北海道対がんの石岡、山形大の鈴木、大阪府成人病の竹下らと神奈川県放射線技師会の須藤、伊藤今日一、小山内、伊藤哲、飯田とメーカ指導者では、日立の落合、GEの関口、コダックの鷲尾、コニカの松村、富士の岩崎と東洋メディックの北村の20名が講師陣として指導し実施した。

受講生は、県下から25名と他県から12名の37名であった。

神奈川乳房画像研究会は、この受講生の中の5名と技師会会員の5名による世話人構成で活躍していただく事にした。

この講習会は、日本乳癌検診学会の精度管理中央委員会（略して、精中委）の企画である。

平成7年には、日本医学放射線学会乳房撮影ガイドライン委員会から「乳房撮影ガイドライン」が出版された。平成9年には日本乳癌検診学会の呼びかけにより、「日本乳癌学会、日本医学放射線学会、日本産科婦人科学会、日本

放射線技術学会、日本医学物理学会、日本医学放射線物理学会（後2学会は日本医学物理学会に統合し、現在は6学会）が代表を送り、「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」が結成された。

精中委はマンモグラフィ検診の精度管理が中心で、医師、技師の「読影・技術の教育研修と施設認定など」が実施されている。精中委の技術講習会は、精度の高いマンモグラフィ検診を普及させ維持するため、従事する者にマンモグラフィの精度管理の徹底、撮影技術ならびに読影力の向上を図ることを目的としている。

神奈川県下では、精中委認定Aランク保持者である神奈川乳房画像研究会の世話人によって、講習会は精度管理中央委員会と共催して13回に及ぶ開催が実施されてきた。また、いずれの講習会も共催団体として、神奈川県医師会主催、横浜市主催、川崎市医師会主催等が支援され、マンモグラフィ撮影技術および読影医師の講習会として実施してきた。

そこで神奈川乳房画像研究会の歩みを、実施日により回想する。

[第1回 神奈川乳房画像研究会]

平成10年12月12日（土）に中区の「かながわ労働プラザ」の4階会議室で、会費1,000円を徴収して行われた。

何分にも参加費で会を運営することが前提で発足した研究会であり、他の援助は全くなしでスタートを決めた。

現在もこの趣旨は、神奈川乳房画像研究会が存在する限り、遂行されると考えている。

何人が集まるのか皆目判らずに、代表世話人としては最も気になる点でした。

しかし、研究会への参加者は毎回開催するごとに増えつづけ、10年経過した第30回の記念講演会開催に至るまで、参加者は増加の一路であった。

第1回目の開催では「特別講演会」として、3題を企画した。

講演1は：「マンモグラフィの精度管理」として、厚生省班会議の医学物理士の立場で、聖マリアンナ医科大学放射線教室の今村恵子先生が、マンモグラフィの水準を如何に維持し、日常の精度管理を実行するのかが絶対に重要であるとした。

その1つは、撮影系のハードウェア

その2つは、臨床画像の精度管理 である。

その中でも、精度管理マニュアルやガイドラインの指針に従って、精度の管理を行う。

ファントム撮影画像の質と、その撮影に要した線量が、総合評価となると解説された。

提案としては、

1) デジタル的な画質評価では、いつも同じ眼の画像であること。

2) 精度管理データのベース化を図ること。

画像を含めて、精度管理データを一括管理する事などと講演された。

講演2は：「マンモグラフィ導入に当たって」と題して、愛知県総合保健センターの堀田勝平先生などが、マンモグラフィを導入した乳がん検診に必要な施設数、読影医師数、撮影する放射線技師数、乳房撮影台数等を全国的視野で実態調査をして、撮影技術の向上を目指した教育システムの検討とした調査研究報告をされた。

その結果からは、精度の高い検査が行えるとは考えにくく、読影医師、放射線技師の教育と精度管理、品質管理システムの標準化が急がれると講演した。

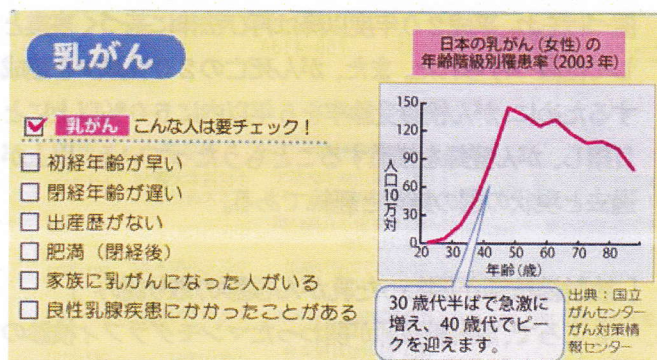
講演3は：「早期乳癌の外科的適応」と題して聖マリアンナ医科大学外科の福田護先生による講演が行われた。

乳癌の手術は、乳房全部を取り除く「乳房切除術」と、しこりなどの病変部を含んだ乳腺の一部のみを切除する、「乳房温存術」に大別される。

いずれも術式では、原則としてリンパ節郭清が施行されるが、近年は「乳房温存術」が多く施行されるようになっていると話された。

乳房温存術の種類、適応、切除断端と温存術のために望まれる画像診断は、多くの乳管内進展によるものであり、乳管内進展範囲が同定できる画像が望まれると、更に早期診断が可能な診断法として「3次元評価」が可能な診断法が望まれると締めた。

以上で、初めての神奈川乳房画像研究会開催による、「特別講演」は無事終了した。

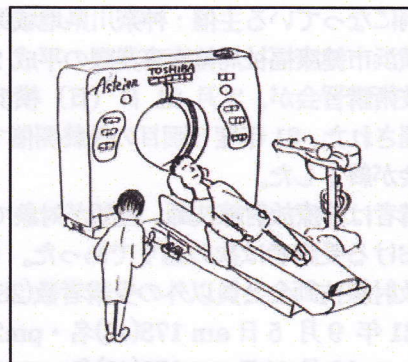


積極的に検診を受けましょう

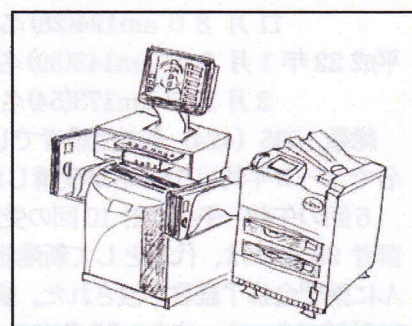
診療放射線技師 心得啓蒙かるた

診療放射線技師としての「日頃の心掛けや技術変化への対応などの心得」を「かるた風」に綴った。

- あ アイソトープ 管理厳しく 忠実に
- い インコンで 患者に理解を 優先ス
- う 腕磨く 自己研鑽 人の道
- え エックス線 安全利用は 技師の義務
- お 起こりうる 容態急変 冷静に



- か 画像読む 技師の力が 助け舟
- き 急患は 冷静迅速 技を魅せ
- く 繰り返す 技術学習 万全に
- け 検査時は 安全管理 怠るな
- こ 骨シンチ 転移の指標 早わかり



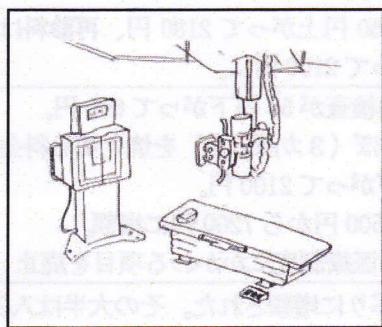
- さ 再撮は 隠さず告げて 気持ちよく
- し 初期検査 CT画像の 威力勝ち
- す スクリーンに 勝るIPで 被ばく減
- せ 線量の 測定管理は 怠らず
- そ 増感紙 IPが引き受け デジタル化

- た 絶え間無く 画像技術は 進歩する
- ち チーム医療 望む我が身に 義務をもつ
- つ 常日頃 仕業点検 事故防ぐ
- て データ処理 画像技術を 我が手にす
- と 透視像 動く臓器の 的捕らえ

- な 名前呼ぶ 患者の名をば 再確認
- に 乳房の 放射線検査は 技がいる
- ぬ 抜かりない 画像管理は 技師の義務
- ね 捏造を やってならぬは あたりまえ
- の 能書きは 実技に勝る ものはなし

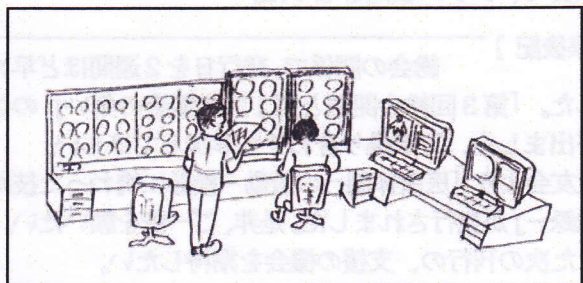


- は 励まは 画像見せての 信頼を
- ひ 病巣が 見える画像に 汗流す
- ふ ファントムは 画像管理の 必需品
- へ ヘリカルCT 立体画像 描き出す
- ほ 放射線 画像無くして 医学なし



- ま マニュアルを 常に見直し バージョンアップ
- み 見極めた 画像の上がり 評価され
- む 無駄口が 災いの元 気を配り
- め 目指すのは 疾患見える 医の画像
- も もう一步 研鑽努力に 汗流せ

- ら ラディーション 治療担当 気が抜けぬ
- り リアルなる 画像求めて 技磨く
- る ルールあり 管理区域の 出入りは
- れ 礼儀良く 迎える態度に 安心感
- ろ 漏洩は 常に点検 法守る



- や 優しさは 病める者には 救いの手
- ゆ 優先は 患者尊重と 事故防止
- よ 予約無し CT / MR 検査は ありがたい
- わ 解らない 画像は何でも 技師に聞け
- を “を” のついた 啓蒙かるた ギブアップ
- ん ん〜これは 辛口言葉 身が締まる

みんなの広場

平成21年度 診療放射線技術講習会が終了

恒例になっている主催：神奈川県地域保健福祉課・後援：横浜市健康福祉局健康事業課の平成 21 年度診療放射線技術講習会が、2 月 21 日（日）横浜西センターで開催された。21 年度 5 回目の最終開催で、年間 5 回の講習会が終了した。

受講者は診療放射線技師、医師が対象で、5 日間の開催における受講者は次の通りであった。（ ）内は神奈川県放射線技師会会員以外の受講者数(28%)です。

平成 21 年 9 月 5 日 am 173(42)名・pm200(49)名

10 月 11 日 am 155(46)名・pm120(36)名

11 月 8 日 am124(28)名・pm151(41)名

平成 22 年 1 月 24 日 am143(39)名・pm153(40)名

2 月 21 日 am173(54)名・pm143(49)名

総数 1535 (424) 名の受講者でしたが、申込みは 710 名で、一日平均は 152 名が受講した。

5 回の午前・午後の計 10 回の受講率が 80%以上の受講者 95 名には、代表として新港北病院院長島倉安守さんに講習会修了証書が渡された。修了証受証者は昨年比 21%減であった。また、95 名中の 61 名は横浜市内の医療機関勤務者であった。

心臓カテーテル検査で院内感染の疑い

横浜地検は医師・技師ら 4 人を不起訴処分

茅ヶ崎市立病院医師ら 4 人が、06～07 年に心臓カテーテル検査を受けた 5 人の患者に肝炎の院内感染をした疑いがあるとして、医療器具を使い回した業務上過失傷害の疑いで書類送検されていた。

循環器内科部長医師(51)、診療放射線技師(59)(48)、臨床工学技士(42)の 4 人は、血液感染の危険性を認識しながら、経費削減のために血圧測定器具などを使い回したため、男性 5 人の患者を C 型肝炎に感染させた疑いがあるとされていた。

08 年 12 月に書類送検されていたが、感染源や感染経路の特定が困難で因果関係が立証出来なかったとして、横浜地検は昨年 11 月 26 日に嫌疑不十分で不起訴処分とした。（参考資料：朝日新聞夕刊、神奈川新聞 2009. 11. 27）

乳がんの放射線治療で左右を誤る

横浜南共済病院で乳がんの放射線治療を受けた際、左右の乳房を誤って放射線照射されたとして、2 月 17 日に横浜市内の 40 代の女性が病院と医師に対して、損害賠償を求める訴訟を横浜地裁に起こした。

訴状などによると、2008 年 3 月左乳房の乳がんと診断され「左乳房温存手術を受けた。その後、同年 8～9 月に計 16 回を、本来左乳房にすべき放射線治療を右乳房

に受けたという。」

期間中の治療は放射線技師に任せられ、医師が 2 度目に診察した 9 月 12 日に記載ミスが発覚。医師からは謝罪を受けたという。（参考資料：朝日新聞朝刊 2010. 02. 17）

再診料を 690 円に統一

外来受診の際にかかる「再診療料」が 4 月から病院・診療所とも 690 円に統一された。

新年度からの診療報酬改定を検討している中央社会保険医療協議会（中医協）で、2 月 10 日に決着した。

診療所は 710 円→690 円に病院は 600 円→690 円になり、病院、診療所とも 690 円で統一された。

また、診療報酬は 10 年ぶりにプラス改定される。

< 4 月からの医療費はこう変わる >

外 来	<ul style="list-style-type: none"> 再診料：病院・診療所ともに 690 円 24 時間体制で患者の相談に応じる診療所の再診料は 30 円増額。 医療費の明細書無料発行する診療所は、再診料 10 円増額。
救 急	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医師が当番を務める病院で、休日夜間診療を受けると 1000 円が加算される。 救急医療機関に運ばれると入院料は 1 日当たり 6000 円から 8000 円に増額。
産 科	<ul style="list-style-type: none"> 妊産婦が救急搬送されると、初日の入院料が 5 万円から 7 万円に増える。
小 児 科	<ul style="list-style-type: none"> 新生児集中治療室(NICU)から移った病床は別途 1 日 5 万円 4 千円かかる。
勤 務 担 医 軽 の 減	<ul style="list-style-type: none"> 事務作業を補助する職員を配置している病院の初日入院料が増額。 栄養サポートチームや呼吸ケアチームを設けている病院に新たな加算を設ける。
外 科	<ul style="list-style-type: none"> 大動脈瘤切除など難しい手術の料金を 3～5 割引き上げる。
歯 科	<ul style="list-style-type: none"> 初診料は 360 円上がって 2180 円、再診料は 20 円上がって 2100 円に。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 眼科の視力検査が 50 円下がって 690 円。 皮膚科でいぼ（3 カ所以上）を焼き切る料金は 100 円下がって 2100 円。 往診料は 6500 円から 7200 円に増額。 後期高齢者医療制度にかかわる項目を廃止

診療報酬が 10 年ぶりに増額された。その大半は入院治療費で、プラス改定となった。

[編集後記]

総会の関係で、発行日を 2 週間ほど早めました。「第 3 回総会開催と第 1 回放談会の集い」の会告が出ました。万障繰り合わせて参加してほしい。

放友会より「医療体制への鼓動—検診に携わった技師の記録—」が発行されました。是非、ご一読を願いたい。

また次の刊行の、支援の機会を期待したい。